

保護者及び関係者の皆様

平成29年3月28日
社会福祉法人どろんこ会
理事長 安永 愛香

前略

本日、東洋経済オンラインにて当法人の運営に関する記事（以下、「本件記事」といいます。）が掲載されました。しかしながら、本件記事には事実と異なる内容及び誤解を招く表現等が多数含まれております。そのため、本件記事の内容に沿って当法人としての見解を、下記のとおりご説明させていただきます。

1 人事について

当法人においては体調不良による欠勤が連続4日以上となった職員に対して、専門家による判断を仰ぐため診断書の提出を求めています。そのため、当法人が連続して2日欠勤した職員に対して、本件記事に記載されているような対応を行うといった事実はありません。

また、診断書をもとにした退職勧告及び本件記事冒頭に記載されております「報復人事」を行っているという事実も一切ございません。

2 是正報告書について

武蔵野どろんこ保育園の開園に先立って、東京都福祉保健局による認可検査は行われており、その際に東京都福祉保健局よりご指摘いただいた項目については、概ね本件記事の通りです。

しかしながら、認可検査は開園の前に必ず行われる手続きの一貫であり、かかる検査に対する報告書につきましては、発注した保育施設の設計・施工内容の最終確認という観点から、通常、保育施設の設計・施工を担当いただいた会社様と協同して作成させていただいており、かかる報告書の作成過程には何らの問題も存在しないものと考えております。

また、当法人におきましては、施工会社様の選定は入札を元に決めさせていただいており、本件記事に記載されているような複数施設の施工を発注したことの見返りとして、何らかの便宜を図ることを依頼したといった事実は一切ございません。

なお、本件記事内にあります医務室関連物品について、周辺施設から一時的に移設した事実はございますが、当然のことながら、その後直ちに当該備品の購入及び設置を実施し、当該施設の開園前には完了しております。また、可動間仕切りについては、一時保育実施を前提とした指摘であり、開園以来一時保育事業を実施していないため、現時

点では設置しておりません。2017年1月の東京消防庁の検査については、本件記事に記載されているような抜き打ちのものではなく、通常の定期検査として事前にお知らせいただいていたものあり、また当該検査の際に備品の不備等の指摘はいただいております。

3 見失い、虐待疑惑について

園児の見失い、園児のあざについては事実であり、当該保護者の方には経緯の報告とお詫びをさせていただいております。

また当該保育園の他の保護者の皆様に対しては、本件記事にもあります通り2017年2月及び3月に説明会を開催させていただいております。

本件記事は、当法人の本部がこれらの点に関する隠蔽を図ったかのような記載がされておりますが、事実とは異なる内容でございます。

4 取材対応について

本部へのお問い合わせの履歴によると、2017年3月23日及び同月24日に、少なくとも3回の取材に関する問い合わせをいただいていることが確認されております。

しかしながら、そのすべてが社名や媒体名が特定できない個人名でのお問い合わせであったため、当法人としましては対応しておりませんでした。

また、本件記事にあるような職員に対する指示・内容については、いずれも事実無根であります。

上記のような対応はやむえないものでありご理解を賜りたく存じます。

以上が本日の本件記事に対する当法人の見解となります。

保護者及び関係者の皆様にはご心配・ご迷惑をおかけし大変申し訳ございません。

当法人は、これまでも監督庁による厳正な指導や監督を受けながら適正に業務を推進してきており、今後もその方針を貫いていく考えですので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上